



▲春日神社蔵 神像 4 軀

春日神社は、平安時代の初めには既に存在したと考えられ、延喜式神名帳に記載される「乎彌神社」の比定地の一つとされています。この神社は、もと「乎彌之明神」と称し、今も境内の森は「乎彌之森」と呼ばれています。平安時代頃、このあたりが奈良春日大社の神宮寺である興福寺の寺領となり、春日神社と改称されたといわれています。

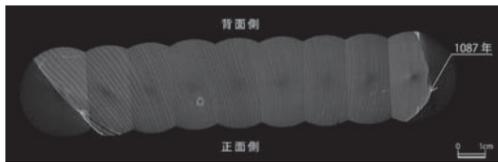
春日神社には、4体の神像が伝えられています。1体は女性の神を表現したもので、他の3体は男性の神です。4体ともに、それぞれヒノキの1材から彫出し、内刻りは施されています。随筆家の白洲正子もかつてその姿にふれ、心を寄せたといひ、彼女に関係する書籍や展覧会などでもしばしば紹介されています。

「女神坐像」は、着衣の文様はほとんど省略され、肉付きを抑えた腹部の抑揚や面相にみる穏やかさなどから、平安時代後期の作と考えられます。「首を傾げる男神立像」は、目は細長く表わされる個性的な表情で、胸の前で手を組み、首を右上に傾げて遠方を望み直立しています。

衣を通して感じられる脚部の表現や個性豊かな面貌は、神像にありがちな省略された表現とは一線を画すものがあり、制作は、おそらく鎌倉時代と推測されます。「目をつむる男神立像」は、作風の近似から「首を傾げる男神立像」と同一作者の手になるものかと思われます。本像は閉目して幾分上向きかげんとなっています。「顎髭をたくわえた男神立像」は、襟の立った袍を着して、顎には長い髭を垂らして立ちますが、両肩より先を欠失するために直立の姿勢が強調される結果となっています。

本像は先の2体の男神像よりひとまわり小さく、作者は異なるものの、

問 高月観音の里歴史民俗資料館
(☎085-22273)



▲目をつぶる男神立像の断層画像

し、平安時代、西暦933年から1087年まで、155年間の年輪が含まれることがわかりました。



▲X線による年輪調査

やはり鎌倉時代の制作とみられます。

高月観音の里歴史民俗資料館では、平成26年度、奈良文化財研究所との連携研究により、この木造神像4体の年輪調査を行いました。その結果、「目をつむる男神立像」に使用されているヒノキの年輪年代が判明

県指定文化財 神像 4 軀

指定日：昭和48年3月31日 指定
所有者：春日神社(高月町宇根)
保管：高月観音の里歴史民俗資料館

春日神社は、平安時代の初めには既に存在したと考えられ、延喜式神名帳に記載される「乎彌神社」の比定地の一つとされています。この神社は、もと「乎彌之明神」と称し、今も境内の森は「乎彌之森」と呼ばれています。平安時代頃、このあたりが奈良春日大社の神宮寺である興福寺の寺領となり、春日神社と改称されたといわれています。

春日神社には、4体の神像が伝えられています。1体は女性の神を表現したもので、他の3体は男性の神です。4体ともに、それぞれヒノキの1材から彫出し、内刻りは施されています。随筆家の白洲正子もかつてその姿にふれ、心を寄せたといひ、彼女に関係する書籍や展覧会などでもしばしば紹介されています。

「女神坐像」は、着衣の文様はほとんど省略され、肉付きを抑えた腹部の抑揚や面相にみる穏やかさなどから、平安時代後期の作と考えられます。「首を傾げる男神立像」は、目は細長く表わされる個性的な表情で、胸の前で手を組み、首を右上に傾げて遠方を望み直立しています。



▲X線による年輪調査

やはり鎌倉時代の制作とみられます。

高月観音の里歴史民俗資料館では、平成26年度、奈良文化財研究所との連携研究により、この木造神像4体の年輪調査を行いました。その結果、「目をつむる男神立像」に使用されているヒノキの年輪年代が判明

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、448件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介しています。

※平成27年7月1日現在

ユネスコ無形文化遺産登録をめざす 長浜曳山まつり

支援ボランティア募集

曳山の曳き手ボランティアと提灯等を持って参加する渡り(役者行列)のボランティアを募集します。

【応募資格】18歳以上の健康な男性(高校生不可)

【日 程】4月14日(木)～15日(金)

〔登り山〕4月14日(木)11時～16時

〔夕渡り〕4月14日(木)17時30分～21時30分

〔朝渡り〕4月15日(金)6時～9時

〔太刀渡り〕4月15日(金)6時～11時

〔本 日〕4月15日(金)8時30分～20時50分

〔戻り山〕4月15日(金)21時～24時

【服 装】

動きやすい服装(はっぴ、装束、軍手は貸与)

※上記時間はおよその時間

です。また、くじ順により時間が前後します。4月13日(水)のくじ取り式後に役務を調整のうえ、集合時間を連絡します。



【応募方法】①住所②氏名③電話番号④参加できる日時を下記まで。

【締 切 り】2月25日(木)

問・申 曳山博物館

(☎65-3300 ☎65-3440)

「三番叟」役者募集

長浜曳山まつり子ども歌舞伎の開演を祝う舞、「三番叟」の子ども役者を募集します。

【応募資格】現在、市内小学校に通う3～5年生の男子

【出 演】4月13日(水)～16日(土)

壹番山の曳山舞台および長浜文化芸術会館

【募集人数】1人(応募多数の場合は、2月28日(日)に抽選)

【その他】衣装代等の個人負担なし

【応募方法】①住所②氏名③学校名

④学年⑤保護者名⑥電話番号を、はがきまたはFAXで下記まで。

はがきまたはFAXで下記まで。

【締 切 り】2月25日(木)



問・申 曳山博物館

(☎65-3300 ☎65-3440)

曳山まつり「観覧桟敷席」予約受付中

4月15日(金)に長浜八幡宮に設ける桟敷席の予約を、下記のとおり受けつけます。

【料 金】1人3,000円

【受付期間】2月1日(月)～15日(月)

※電話で下記まで。申込み多数の場合と場所は抽選。

問・申 (公社)長浜観光協会(☎65-6521)

長浜盆梅展 ライトアップもお楽しみください

【ライトアップ期間】

2月6日(土)～3月6日(日)の土日祝日および2月12日(金)17時～20時30分(入館20時まで)

長浜の早春の風物詩「長浜盆梅展」が始まりました(3月13日(日)まで)。今年も夜間ライトアップを行いますので、昼間とは一味違った幻想的な盆梅をご覧ください。

【会 場】慶雲館(港町)

【観覧料金】大人500円
小中学生200円

第65回長浜盆梅展 夜間観覧無料券

夜間公開時間帯(17時～20時30分)に限り無料で入場できます。
※1枚につき1人まで。

【有効期間】2月6日(土)～3月6日(日)の土日祝日および2月12日(金)
※点線で切り取ってお持ちください。